令和８年８月４日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

令和７年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業　資料５－７

【特定非営利活動法人 釜戸町まちづくり 推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	２，３３１，６２９円
交付金決定額 （うち加算額）	１，０８３，０００円 （１１０，０００円）
交付金決算額	１，０８３，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ１７
・事後評価調書　Ｐ１８～Ｐ２１
・参考写真
　（令和７年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２２～Ｐ２５

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和 ８年 ４月３０日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市釜戸町2673番地の1
名称：特定非営利活動法人
釜戸町まちづくり推進協議会
代表者氏名：理事長　西戸　利彦

夢づくり地域交付金実績報告書

令和７年５月２日付け瑞浪市指令第５０号の４で交付決定された夢づくり地域交付金の計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第11条の規程に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
竜吟の滝ホタルまつり＆鑑賞会
釜戸村誕生150周年イベントの開催
釜戸町民白書製作事業
空き家活用推進事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

竜吟の滝ホタルまつり＆観賞会

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

■地域の課題
・美しい自然が残る釜戸町ですが、その魅力が町内外の方々に周知できていません。

□活動内容
シーズンに入るとホタルが飛び交う竜吟峡を舞台にホタルまつりと観賞会を開催します。ホタルまつりはキッチンカー等を会場に配置し、ホタルの鑑賞と併せて夜の竜吟峡を楽めるイベントとし、その後1週間は自然の環境とともに鑑賞を楽しむ鑑賞会を行います。
明世地区まちづくり推進協議会が取り組むホタル育成事業と時期を重ねて合同イベントとして開催することにより、より広く町内外の方に釜戸町の自然の魅力を伝え、自然保全の意識醸成や地域への誇りを高めていくことを目指します。
あわせて、道中の玉切れしている防犯灯をＬＥＤ灯に交換し、歩行者の安全確保を図ります。

実施期日：【ホタルまつり】令和7年6月14日
【ホタル観賞会】同15～21日

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・ホタルまつり参加者数　200人

４　事業に要する経費（総事業費）

130,000 円

５　交付金申請額

110,000 円
（内、交付金加算額　110000 円　）

６　合同で実施する地区

明世地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

竜吟の滝ホタルまつり＆観賞会

２　活動報告（活動内容等）

6月14日にホタルまつりと題して出店等が出店するイベントを開催しました。当日は地元の商店らによる出店で会場の賑わいづくりに努めたほか、明世地区との合同チラシの製作及び配布、（株）生活の木様より協賛品として頂いたアロマオイルを参加者全員に配布し、翌週に開催された明世地区のホタルイベントで購入できるアロマストーンと合わせて来場意欲を高める工夫を講じるなどし、雨天にもかかわらず206名の方にご来場いただきました。

翌15日から22日までは観賞ウィークと題して小学生が制作した灯篭の灯りで通路を照らし、夜の竜吟峡でのホタル観賞を楽しんでいただきました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①ホタルまつり参加者数　目標値：200人　実績値：206人

４　事業に要した経費（総事業費）

122,398 円

５　夢づくり地域交付金充当額

110,000 円
（内、交付金加算額　110,000円）

６　合同で実施した地区

明世地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	・チラシ、インスタグラムによる広報活動 ・防犯灯交換作業	印刷費 手数料等 備品費	7,894 550 90,000
６月	・釜戸小学校児童を対象にした灯篭作成WS ・イベント運営	消耗品費 食料費	19,474 4,480
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			122,398

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	110,000	110,000	
自主財源	20,000	12,398	
その他（　）	0	0	
合　　計	130,000	122,398	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
竜吟峡ホタル観賞会	灯篭製作ワークショップ	備品費	90,000	0	工事費に科目変更
	防犯灯交換作業	印刷費	20,000	7,894	チラシ印刷費
	チラシ等による広報活動	原材料費	20,000	6,494	灯篭用材料費
	イベント当日運営	手数料等	0	550	振込手数料
		工事費	0	90,000	防犯灯交換工事
		消耗品費	0	12,980	のぼり旗
		食料費	0	4,480	賄い
小計			130,000	122,398	
合　　計			0	0	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

釜戸村誕生150周年イベントの開催

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

■地域の課題
・明治8年に現在の釜戸町の前身である釜戸村が誕生してから150年が経過しましたが、その歴史を知る人が少なくなっています。
・関係人口の中で最も関係性が深いとされる「町外に住む町出身者」の情報が把握できておらず、まち協の取り組みを案内し、場合によっては協力を得るといったコミュニケーションがとれていません。
・町内商店が減少しており、町の活気が失われつつあります。

□活動内容
現在の釜戸町の基となった釜戸村の誕生150周年を記念した企画を夏まつり及び文化祭時などに行い、釜戸町への理解や愛着を深めるとともに関係人口との交流を深める機会を設けます。具体的には150年の歴史を振り返ることのできる展示や、町在住者や町出身者で現在町外で活躍されている方々によるステージイベント、新たに町内で事業や活動を始めようとされている方々による出店などを夏まつりや文化祭に盛り込み、住民や帰省者をはじめとする関係人口が地域の魅力を再発見できるような内容にすることを考えています。

開催期日：【釜戸町夏まつり】令和7年7月26日
【釜戸町文化祭】　令和7年10月26～27日

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・関連イベント総参加者数　3,000人
※前年度実績＝夏まつり1,400人、文化祭1,200人
・関係人口との連絡手段の獲得（＝公式ＳＮＳフォロワー数の増加）
イベント前後のフォロワー数の差　＋200
・イベントを契機としたまち協事業等への協力件数　5件以上
※寄附、入会、空き家情報の提供、空き家の活用などをイベント後から年度末までで計測

４　事業に要する経費（総事業費）

1,820,000 円

５　交付金申請額

653,000 円

（内、交付金加算額　　0 円　）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

釜戸村誕生150周年イベントの開催

２　活動報告（活動内容等）

釜戸町の基となった釜戸村の誕生150周年を記念し、町への理解や愛着を深めるとともに、関係人口との交流を促進するため、夏まつりおよび文化祭において以下の特別企画を実施しました。

【夏まつりにおける記念企画】
・150年記念花火の打ち上げ
・150年記念手ぬぐいの配布
・帰省者をメインターゲットとした参加型企画「帰省-１グランプリ」実施

【文化祭における記念企画】
・150年の釜戸の歩みをまとめたパネル展示
・釜戸町にゆかりのあるアーティストをゲストに記念コンサート開催
・釜戸の昔の出来事を題材にした紙芝居「明治天皇御巡幸」「釜戸長石物語」の実施
・150年記念餅投げの実施

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①関連イベント総参加者数　目標値：3,000人、実績値：2,600人

②関係人口との連絡手段の獲得（＝公式ＳＮＳフォロワー数の増加）
目標値：200件の増加、実績：310件の増加【R7.6～11月の増加件数】

③イベントを契機としたまち協事業等への協力件数　目標値：5件以上、実績：寄附6件、空き家情報の提供3件

４　事業に要した経費（総事業費）

1,840,561 円

５　夢づくり地域交付金充当額

653,000 円

（内、交付金加算額　0円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	実行委員会の開催	通信費等 消耗品費	330 20,401
６月	出店者会議の開催 花火打上に係る申請手続き	 手数料等	 10,200
７月	チラシ等による広報活動 実行委員会の開催 夏まつり事前準備 夏まつり当日運営	印刷費 消耗品費 委託料 報償費 食料費 通信費等 補助金等 手数料等	40,498 255,364 1,000,000 10,000 62,700 2,816 275,600 1,760
８月			
９月	展示物等の製作		
１０月	文化祭当日運営	消耗品費 報償費	135,892 25,000
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			1,840,561

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	653,000	653,000	
自主財源	167,000	90,560	
その他（花火協賛金）	1,000,000	1,082,831	248件
その他（雑収入）	0	14,170	当日飲料売上金
合　　計	1,820,000	1,840,561	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
夏まつり関連	実行委員会	報償費	30,000	10,000	司会者謝礼
	出店者会議	消耗品費	250,000	275,765	記念品他
	広報活動	食料費	20,000	62,700	賄い
	事前準備作業	印刷費	25,000	40,498	チラシ、ポスター
	夏まつりの運営	保険料	25,000	0	市民活動保険で対応
		手数料等	20,000	11,960	花火許可、振込手数料
		補助金等	100,000	275,600	出店補助他
		委託料	1,000,000	1,000,000	花火打上
		通信費等	0	3,146	切手代、新聞折込
小計			1,470,000	1,679,669	
文化祭関連	展示物等の製作	報償費	100,000	25,000	コンサート出演者他
	文化祭当日運営	消耗品費	100,000	135,892	投げ餅、景品
		印刷費	50,000	0	
		通信費等	10,000	0	
		補助金等	90,000	0	
小計			350,000	160,892	
合　　計			1,820,000	1,840,561	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

釜戸町民白書製作事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

■地域の課題
・まち協が行う各種事業と町民の困りごとやニーズとが合致しているか否かを測ることができておらず、まち協が抱える事業の優先度付けや改廃、新設が行いづらい現状です。
・明治8年に現在の釜戸町の前身である釜戸村が誕生してから150年が経過しましたが、誕生から現在までの歴史を把握できる資料がありません。

□活動内容
令和7年現在の町民の感じる課題を可視化し、まちづくり事業の改廃、新設の際の根拠としたり、効果測定に用いるために、アンケートによる町民の意識調査を行い、「釜戸町民白書」を製作します。釜戸村の誕生から150年を迎えた釜戸の現状を記録するデータも併せて掲載します。
白書は900部ほどを年内に製作し、協力者へは無償配布、希望者には販売することを予定しています。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・釜戸町民白書の出版

４　事業に要する経費（総事業費）

240,000 円

５　交付金申請額

200,000 円
（内、交付金加算額　　0 円　）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

釜戸町民白書製作事業

２　活動報告（活動内容等）

釜戸町民が現在感じている町の魅力や課題、まちづくりに求めることを探る町民意識調査を行いました。町内全戸に配布し、497件の回答を得たほか、小中学生向けの調査を実施し51件の回答を得ました。寄せられた回答からこれからのまちづくりの指針として取りまとめました。

また、釜戸村が誕生して150年が経過したことを記念して、この150年のまちの歩みを年表として可視化したほか、「交通」「行政区」「産業」「観光」「教育」の観点からまとめました。

上記2点を含めた白書を900部製作しました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①釜戸町民白書の出版　実績：釜戸町民白書を完成させ、令和8年5月中に町民全戸に配布

４　事業に要した経費（総事業費）

240,000 円

５　夢づくり地域交付金充当額

200,000 円
（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月	アンケート調査内容の検討		
９月	アンケートの実施（～10/31）	通信費等	51,654
１０月	編集会議の開催		
１１月			
１２月	アンケートの分析		
１月			
２月			
３月	白書の出版	印刷費	188,346
合計			240,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	200,000	200,000	
自主財源	40,000	40,000	
その他（　　）	0	0	
合　　計	240,000	240,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
町民白書製作経費	編集会議の開催	印刷費	60,000	188,346	24ページ＋付録,900部
	アンケート調査の実施 アンケート結果の分析	通信費等	180,000	51,654	アンケート返信郵送料
	白書の出版				
合　　計			240,000	240,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

空き家民泊施設化推進事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

■地域の課題
・地域内に空き家が増え、その活用策が求められています。
・地域内に宿泊可能な施設が減少し、クライミングやクラフトビールを飲みに遠方から来られる来訪者の宿泊の受け皿がありません。
・まち協組織の自主財源づくりに資する事業がなく、市や町からの交付金や補助金頼りの経営が続いています。

□活動内容
これまで不動産関連の実務経験が必要だった住宅宿泊管理業の登録要件が緩和されたことを受け、まち協として住宅宿泊管理業の登録を行い、地域内の民泊施設の住宅宿泊管理業務を請け負うことができる体制を整えます。既存のゲストハウスから業務を請け負うことや、空き家や空き部屋の活用策の一つとして民泊施設化という選択肢を増やすことで、空き家の活用を推進するとともに自主財源の確保を目指します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・住宅宿泊管理業者登録の完了

４　事業に要する経費（総事業費）

130,000 円

５　交付金申請額

120,000 円
（内、交付金加算額　　0 円　）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

空家活用推進事業

２　活動報告（活動内容等）

空き家の民泊施設としての活用推進に向け、NPO法人釜戸町まちづくり推進協議会として、住宅宿泊管理業の登録申請を行いました。
登録申請に先立ち、事業者の要件である住宅宿泊管理業の登録実務講習を受講し、修了証を受領しました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

目標：住宅宿泊管理業者登録の完了
実績：住宅宿泊管理業者登録申請を3月に実施

４　事業に要した経費（総事業費）

128,670 円

５　夢づくり地域交付金充当額

120,000 円
（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月	住宅宿泊管理業登録実務講習の受講	旅費	34,500
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月	住宅宿泊管理業者登録申請	手数料等 通信費等	93,740 430
合計			128,670

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	120,000	120,000	
自主財源	10,000	8,670	
その他（　　）	0	0	
合　　計	130,000	128,670	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
空家活用事業経費	実務講習の受講 住宅宿泊管理業登録の申請	旅費	40,000	34,500	講座受講料
		手数料等	90,000	93,740	登録免許税ほか
		通信費等	0	430	郵送料
合　　計			130,000	128,670	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　釜戸 地区

事業番号　1

事業名　竜吟の滝ホタルまつり＆観賞会

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		2
2	成果目標の達成度	成果目標	ホタルまつり参加者数 200人	4
		実績値	206人	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	美しい自然が残る釜戸町ですが、その魅力が町内外の方々に周知できていません。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				19

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	開催日当日は雨天にもかかわらず、目標としていた200名を超える206名の参加者にご来場いただけました。明世地区との合同イベントとして広報を行ったことで、より多くの方に情報が伝わった成果があったと感じています。 本事業ではいただいた交付金のうち、その多くを夜間に竜吟の滝へ登っていく道中の外灯の設置に使用しました。これにより、一度きりのイベントのためではなく、今後竜吟峡のホタルを見に来られる方全体に対して、効果的な公金の使い方になったと考えています。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	釜戸 地区
事業番号	2
事業名	釜戸村誕生150周年イベントの開催

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	①関連イベント総参加者数 3,000人 ②公式SNSフォロワー数の増加 200件の増加 ③イベントを契機としたまち協事業等への協力件数 5件以上	3
		実績値	①2600人 ②310件の増加 ③寄附6件、空き家情報の提供3件	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	・明治8年に現在の釜戸町の前身である釜戸村が誕生してから150年が経過しましたが、その歴史を知る人が少なくなっています。 ・関係人口の中で最も関係性が深いとされる「町外に住む町出身者」の情報が把握できておらず、まち協の取り組みを案内し、場合によっては協力を得るといったコミュニケーションがとれていません。 ・町内商店が減少しており、町の活気が失われつつあります。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				18

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 継続　3 (終了)　4 廃止
意見・感想など	夏祭りにおいては、150年記念花火の打ち上げ、記念手ぬぐいの配布、帰省者をメインターゲットとした参加型企画「帰省-1グランプリ」を実施し、文化祭においては、150年の町の歩みをまとめたパネル展示、記念コンサートの開催、釜戸の昔の出来事を題材にした紙芝居の実施などを行いました。 150年を記念したイベントの開催は令和7年度で終了しますが、町民の皆様とともに150年の節目を祝うことができた意義は極めて大きいと感じています。この事業が、今後200年、250年と続く釜戸の歴史を次代へ繋いでいくための礎となってくれることを期待します。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　釜戸 地区

事業番号　3

事業名　釜戸村誕生150周年イベントの開催

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	釜戸町民白書の出版	3
		実績値	釜戸町民白書を完成させ、令和8年5月に町民全戸に配布した	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	・まち協が行う各種事業と町民の困りごとやニーズとが合致しているか否かを測ることができておらず、まち協が抱える事業の優先度付けや改廃、新設が行いづらい現状です。 ・明治8年に現在の釜戸町の前身である釜戸村が誕生してから150年が経過しましたが、誕生から現在までの歴史を把握できる資料がありません。	5
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3(終了)　4 廃止		
意見・感想など		町民全戸へのアンケート調査により町民が現在感じている町の課題を把握したうえで、今後のまちづくりの方針を取りまとめられたこと、そして、釜戸村が発足して以来の釜戸のまちの歴史を取りまとめられたことは、今後のまちづくりを進めるうえで重要な成果となりました。 「釜戸町に魅力を感じますか」というアンケートへの回答では「感じている」という回答は約3割でした。今後は町民の困りごとの解決に結びつくような事業を企画・実施し、町に魅力を感じ、住み続けたいと感じ、自らまちづくりを実践する方が増える釜戸町にしていきたいと思います。	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　釜戸 地区

事業番号　4

事業名　空き家活用推進事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	住宅宿泊管理業者登録の完了	3
		実績値	登録完了	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	・地域内に空き家が増え、その活用策が求められています。 ・地域内に宿泊可能な施設が減少し、クライミングやクラフトビールを飲みに遠方から来られる来訪者の宿泊の受け皿がありません。 ・まち協組織の自主財源づくりに資する事業がなく、市や町からの交付金や補助金頼りの経営が続いています。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2(継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	空き家の民泊施設としての活用推進に向け、法人として住宅宿泊管理業の登録を行いました。 空家活用の動きの中で、解体が迫っていた築年数の浅い空き家を所有者と交渉し、民泊施設として利用することが決まり、空き家を活用した民間の民泊施設が2件になる予定です。民泊施設の管理を請け負う資格を保有できたことで、一層の空き家活用を推進していきたいと思います。

竜吟の滝

コラボ企画!!
明世のホタル鑑賞会
6/21(土)
も見に行ってこや～
場所　瑞浪市化石公園付近
時間　pm 4:30～9:30



6/14（土）
ホタルまつり

不動川、一の滝に乱舞するホタル

18時～21時

すてきなランプシェード
（釜戸小学校のこども達の作品）
カマドブリュワリーの地ビール
ひーさんちのキッチンカー
ねここのいえ
ちょっと早い七夕の願い事を短冊に
コースター作り等楽しめるよ～

駐車場：ドラゴン広場等

6/15 » 6/22
ホタル観賞ウィーク

【主催】

瑞浪市自然ふれあい館 Instagram
瑞浪市自然ふれあい館 HP
釜戸町まちづくり推進協議会

【協力】

明世地区まちづくり推進協議会 Instagram

本事業は瑞浪市夢づくり地域交付金を活用して実施されています

【後援】 瑞浪市観光協会

実行委員・中学生ボランティア　夏まつりの感想

釜戸町区長会長 土本 直人

今年も釜戸町夏祭りが盛大に挙行できた事は大変良かったと思います。これはひとえに成功に向けて努力された各役員さん、委員さんの大きな成果であると思います。

最近は中京高校和太鼓部や、中学生ボランティアなどで町外の方の参加もあり花を添えて下さいました。又、花火も十分な豪華さを感じさせてくれました。

課題としては年々ひどくなる暑さ対策をどうするかという事だと思います。

瑞浪北中学校 3年 溝口 希歩

私は釜戸町夏祭りにボランティアとして参加しました。本部でお祭りの進行を手伝い、地域の方と一緒に踊ったり積極的に動いたりして、中学生の元気さで夏祭りを盛り上げることができたと思います。ボランティアをする立場になったことで、多くの人たちの頑張りによって夏祭りが開催され、みんなが楽しく過ごせると感じました。

これからも地域のことを大切にして、中学生としてできることをやっていきたいです。

第1・3分団合同 溝口 和則

カマドキカク製作の魚釣りゲームを実施しました。今回の景品はお菓子類を避け、小物雑貨200個を用意。心配だったのは多数の景品の中から該当番号の景品を素早く探し出せるか、それが迅速なゲーム進行のポイントでした。ところが、メンバーの見事な連携で完璧にクリア。数珠つなぎのお客さんを待たせることもなく景品はすべて完売。夏まつりの盛り上げに貢献できました。

みんなで一つのことを成し遂げる、それがまちづくりですね。

瑞浪北中家庭教育学級 保母 優佳

今回、夏祭りの実行委員をさせて頂き、改めて大勢の方々のご協力があって成り立っているお祭りだと感じました。当日もコミュニティの皆様をはじめ、担当の皆さんが楽しく元気に準備をしてみえてとても活気がありました。中学生の子達も持ち場を楽しそうにお手伝いしていて、運営側が皆さん笑顔だったのが印象的でした。

ピニャータは子供達が興奮してしまいましたが、担当が母親達ということもあり、しっかり抑えながら楽しんでくれたかなと思います（笑）ありがとうございました。

釜戸子ども会連合会会長 黒沢 実

釜戸村誕生150周年記念の夏まつりという事で、帰省-1グランプリやピニャータなど新しい企画もあり記念にふさわしい祭りになったと思います。

釜子連としても射的ブースで参加させてもらい、沢山の子供達が遊びに来てくれました。予定より早く景品が終了してしまいましたが、子供達の喜ぶ顔が見れて良かったと思います。

第2・4分団合同 足立 昌隆

カラフルなヨーヨーが夏の空の下で揺れる中、子供たちの笑顔が最高の思い出です。

「釣れた！」と歓声を上げる子、真剣な表情で糸を垂らす子。小さな手から伝わる喜びや、親子で楽しむ姿に、心が温かくなりました。

夏祭りの賑わいと共に心に残る素敵な一日でした。

今回お寄せいただいた協賛金の総額は1,082,831円でした。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

内訳）・花火協賛金　230件　902,831円

・企業協賛金　16件　180,000円



司企業株式会社様、三洋貿易株式会社様からは協賛品として、抽選会景品の液晶テレビをご提供いただきました。

チラシ未掲載分（敬称略）

氏名	地区	氏名	地区
山本　浩二	中大島	千曲匠楓会	/
三好　修身	西大島	伊藤　雅彦	土岐町
熊谷　義春	上平	匿名希望４名	

誤字のお詫びと訂正

7/24付け新聞に折り込み致しました協賛者一覧を記載したチラシにて以下の誤字がありました。訂正してお詫び申し上げます。

（誤）「脇田　陽葉」様→（正）「脇田　陽菜」様

編集後記

釜戸村が誕生してから150年。この間の1日1日を形作ってきてくれた方々にできるだけ多く参加してもらいたい！そんな思いから「おかえり、釜戸」というテーマを設定し、帰省-1グランプリを企画しました。当日は久しぶりの再会の場面や笑顔が見られて嬉しく感じました。住んでいる人も、離れて暮らす釜戸ファンも、繋がりを切らさず一緒に盛り上げていける町でありたい。そんなまちづくりをこれからも進めていきたいと思います。（Y）

令和7年度 まちづくりだより
夏まつり特集号

＜第58号＞
発行所　ＮＰＯ法人　釜戸町まちづくり推進協議会
発行責任者　西戸　利彦

ホームページ instagram こちらからご覧ください

おかえり、釜戸。みんなで祝う150周年夏まつり

猛暑日が続く中、令和7年度釜戸町夏まつりを無事に開催することができました。これもひとえに準備から片付けまで支えていただいた関係者の皆様、協賛をしていただいた多くのお力添えがあったからです。心より感謝申し上げます。

今年の夏まつりは「おかえり、釜戸。みんなで祝う150周年夏まつり」をテーマとし、釜戸町の基となった釜戸村が誕生してから150年を迎えたことを記念したプログラムを盛り込みました。具体的にはピニャータ(お菓子入りくす玉割り）や帰省-1グランプリ、150年記念花火の打ち上げ、150周年メッセージの掲示などを行いましたが、お楽しみいただけましたでしょうか。

飲食・縁日ブースには新しく町内にお店を構えられた（もしくは構える予定の）方々や、移住者、帰省者による出店があり、会場をにぎやかにしてくれました。ステージでは、こども園・小学校の踊り、和太鼓演奏のパフォーマンス、輪踊り、お楽しみ抽選会が行われ、北中ボランティアの皆さんも夏まつりを大いに盛り上げてくれました。

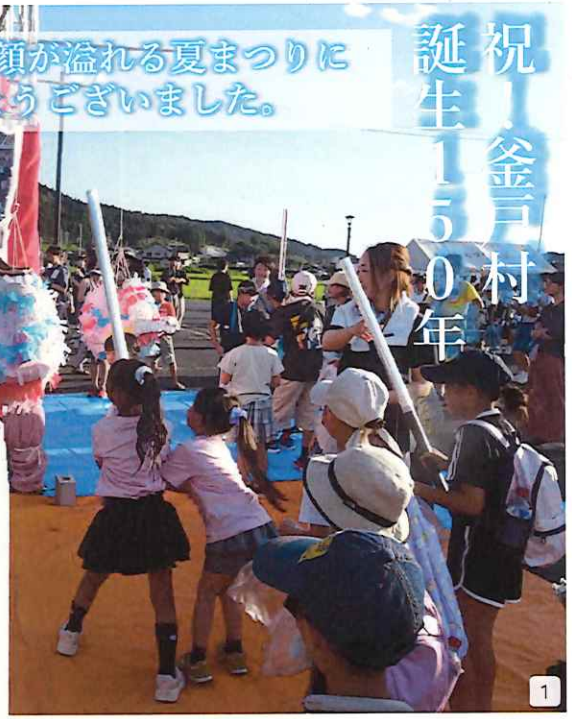
来年度は、酷暑対策を含めてより一層充実した夏まつりとしてゆきたいと考えています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いします。

令和7年度釜戸町夏まつり実行委員会一同



祝 釜戸村 誕生150年

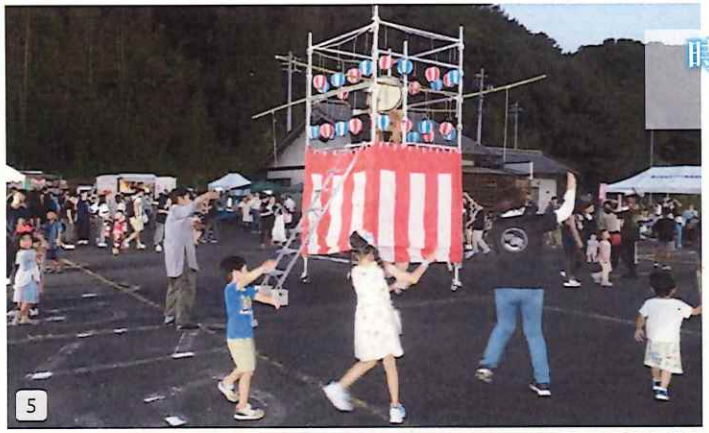
時代は移り変わっても、変わらぬ笑顔が溢れる夏まつりになりました。皆様ご協力ありがとうございました。


1


2


3


4


5

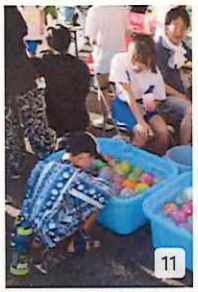

6


7


8


9


10


11


12


13


14



15

写真キャプション

1. ピニャータ(お菓子入りくす玉割り)
2. 竜吟こども園児のダンス
3.4. 帰省-1グランプリ表彰者
5. 輪踊り
6. 中京高校和太鼓部と青龍による釜戸音頭
7. 釜子連の皆が作った提灯
8. 釜戸小5,6年生によるソーラン
9. 釜戸小3,4年生によるバサラ
10～13. 縁日屋台の様子
14. 釜戸小1,2年生によるダンス
15. 打ち上げ花火






第51回 釜戸町文化祭 令和7年10月25日(土)・26日(日)

大勢の方にご来場いただきありがとうございました









